

番傘川柳本社 9月句会

日時 令和7年9月7日(日)
会場 たかつガーデン
出席 67名
司会 西上遊二
呼名復唱 柴田桂子
記名清記 中岡千代美

9月に入りましたが、まだ「暑い
ですね」が挨拶がわりになっていま
す。今回の本社句会は、川柳塔社の
九月本社句会と同じ日の開催で両方
出席もままならず、少し残念な思い
もありました。そんな中久しぶりの
方々の出席もあり活気ある本社句会
にしていたいただきありがとうございます。
した。

席題選者は落語家で番傘わかくさ
川柳会の露の団姫(つゆのまるこ)さ
んにお願いました。柳歴も長くは
きはきした披露で皆さんも魅了され
た事と思います。

また、帰宅後には阪神タイガース
優勝のニュースが飛び込みそちらに
も酔いしれられた方が多かったのだ
はないでしょうか？

席題 誤算 露の団姫 選

まちがって買った馬券が万馬券
怪しげなサブリで飛んだトップの座
嬉しい誤算サマたっぷり食べられる
つまみ食い推定無罪でノラの勝ち
誤算でもやっぱり負けは認めます
十万と言えず五万という気弱
整形をしたら別嬪台無しに
もう一人相続人がいた誤算
赤すぎた薔薇が恋の芽焼きつくす
乗り遅れ時刻表にはない軌跡
もらうはずの遺産負債で断った
なんとなく歪な美女の黄金比
サトテルの覚醒虎の大誤算

藤村とうそん
銭谷まさひろ
銭谷まさひろ
野口 龍
下林 正夫
山田 恭正
岩田 明子
井本 健治
高橋 裕樹
稲葉 良岩
小上 元武
藤本 鈴菜
八木 幸彦

全部寄付なんて私は聞いてない
誤算から生まれた恋が成就する
初孫の産着揃えりや三ツ子とは
気骨ある夫が今はただ頑固
若い頃建てた三階建ての家
誤算ですまさかの長寿ですあなた
計算は合っているけど金がない
トランプの誤算プーチン手に負えぬ
カレーセットデザート付きと知らず出る
良い方に転び誤算を帳消しに
絵に描いた餅へみんながしがみつく
反対の手をあげたのは僕一人
二度の職昔の部下が社長様
あのトラが今日にもVというよき日
行列のボクの手前で売り切れる

中岡千代美
湯澤 孝扇
藤村とうそん
下村 郁子
山本さくら
柴田 桂子
島田 握夢
油谷 克己
上坊 幹子
松本 征子
古川 洋子
穂山 常男
吉富ひろし
成山きよし
菱木 誠

着飾ったフリルがドアに挟まれる
勝ち上がるはずがまさかの初戦負け
人生は希望と誤算くりかえす
定年は70歳という話
戦争はお互い誤算悲劇生む
ミヤクミヤクが罌を生んでいるようだ
誤算した欲の分だけ手に残る
子供孫十人寄ってすねかじる
いつまでも夏が終わらぬ予定外
夢に見た田舎暮らしにシカや熊
予定では今年私の七回忌
誤算なと呼ぶチャンスと呼んでやれ

高橋 裕樹
阪本 秀子
本田 智彦
阪本きりり
田中 利一
西 美和子
沼田 捷二
播本 英二
西上 遊二
下村 郁子
播本 英二
露の 団姫
上坊 幹子 選

宿題 長い夜 上坊 幹子 選

避難所をたたき続ける夜の雨 鈴木のりお

秒針の渴いた音が闇を裂く

田中 新一

眠れない人に無限の夜の闇

大西 將文

中学の隣の席が共白髪

播本 英二

深酒がおいでおいでと秋の夜

井本 健治

煩惱で悟りひらけぬ長い夜

阪本 秀子

胸をうつ言葉で人は立ち直る

阪本 秀子

一晩中泣いて別れにけりを付け

藤本 鈴菜

夜が白む迷いの謎が解けぬまま

奥野健一郎

きつかけを失っただけまだ独り

小寺八重子

おしゃべりに終止符見えぬ三姉妹

鈴木 栄子

明けぬ夜を月下美人と添い寝する

銭谷まさひろ

あの時の足湯からです二人仲

古川 洋子

よし決めた今夜トコトン付き合うわ

植野 繁子

来た道を巻き戻して秋夜長

田中美弥子

一言に救われましたありがとう

柴田 園江

妻病んで回復祈る長い夜

西上 遊二

真夜中のルーチン羊うごかない

阪本きりり

消しゴムを借りたのが始まりだった

片岡 加代

眠れぬ夜思いめぐらす外は雨

北川ヤギエ

月も星もお喋り続く長い夜

三好 聖水

きつかけは朝の散歩のご挨拶

鈴木 栄子

長い夜美白バックのかぐや姫

下岡 昌美

金星が寝顔をのぞく夜行バス

阪本きりり

きつかけを掴めぬままの降車駅

原田 正士

ガザの夜長いが明けぬはずはない

穂山 常男

車窓から銀河眺める夜行バス

野口 龍

きつかけを掴めぬままの降車駅

藤村とうそん

落ち込んだ景気日本の長い夜

八木 幸彦

またひとつ計報を聞いて長い夜

林 ともこ

いままが幸せきつかけはどうであれ

田中 螢柳

長い夜ひまわりの民耐えている

柴田 園江

背信を許せるまでの長い夜

菱木 誠

偶然が必然になる夫婦船

中井 佳子

夜を徹し命を探す救助隊

大塚のぶよし

友の死に鳴り止まぬ夜のレクイエム

下村 郁子

いけずしていたのに愛の花が咲く

井本 健治

待ちわびる月下美人と長い夜

奥野健一郎

丁寧にスープ煮込んでいる夜長

岩田 明子

きつかけを一つ頂く立ち話

沼田 捷二

漱石を秋の夜長に読み返す

西上 遊二

通夜の酒話し尽きない武勇伝

正信寺尚邦

きつかけが欲しくてわざとあてました

小上 元武

昭和のこと話したら長い夜

山本さくら

長い夜過去の痛みが疼き出す

上坊 幹子

同じ趣味きつかけなんてそんなもの

下林 正夫

鈍痛が続く孤独な四人部屋

片岡 加代

きつかけはほんの小さなことでした

本田 智彦

きつかけが欲しくてわざとあてました

小上 元武

秋夜長想いは君のことばかり

倉 周三

きつかけは言えないけれどゴールデン

中岡千代美

きつかけがないとばやいてばかりいる

大堀 正明

友達と喧嘩した日の長い夜

山本さくら

出逢いも喧嘩もお酒のせいでした

銭谷まさひろ

きつかけは言えないけれどゴールデン

上坊 幹子

出たままの猫へしらじら夜が明ける

片岡 加代

きつかけは言えないけれどゴールデン

中岡千代美

きつかけがないとばやいてばかりいる

大堀 正明

眠れない夜E.T.の指の先

藤本 鈴菜

きつかけは言えないけれどゴールデン

中岡千代美

きつかけがないとばやいてばかりいる

大堀 正明

手術室の灯りが消えぬ長い夜

藤村とうそん

きつかけは言えないけれどゴールデン

中岡千代美

きつかけがないとばやいてばかりいる

大堀 正明

眠れぬ夜は壺の小判を数えてる

森 茂俊

きつかけは言えないけれどゴールデン

山本さくら

きつかけがないとばやいてばかりいる

大堀 正明

亡き人を偲ぶ夜長のもの思い

森 廣子

きつかけは言えないけれどゴールデン

山本さくら

きつかけがないとばやいてばかりいる

大堀 正明

大切な人と別れる通夜の夜

小上 元武

きつかけを探り合ってる吉と凶

井本 健治

きつかけは言えないけれどゴールデン

上坊 幹子

一ツ抜けたのが病み付きの始まりで
きつかけをこまめに作る詐欺メール
お父ちゃん酒やめてから老けはった
きつかけはリングが落ちたことらしい
きつかけを見つけて帰る月あかり
蹟いて転けて四つ葉のクローバー
争いのきつかけ人にある五欲
父の血が流れ人間好きになる
妻よりも子の一言でダイエット
穂山 常男

宿題 ホラー 阪本きりり 選

エレベーター見知らぬ人と乗り合わせる
美しくなりすぎました美容外科
ゾンビに噛まれたあんたもゾンビやで
明日はボクかも妻がゴブリ踏み潰す
メモ残し妻が消えてる夏の朝
ホラーめく家にホラーのような妻
カミさんのバック化粧にうなされる
お花け屋敷きあきや化粧ぐちゃぐちゃに
素っぴんへ誰が誰だか判らない
ろくろ首きつちり畳むハイネック
妖怪が夜中に走ってるトイレ
ああ怖いホラーの顔だハモアナゴ
子供だましのホラー子供は喜ばぬ
田中 新一
岩田 明子
藤本 鈴菜
大塚のぶよし
沼田 捷二
田中 螢柳
菱木 誠
北川ヤギエ
島田 握夢
藤村とそん
田中美弥子
銭谷まさひろ
物種 唯修

ヘルプミー今日は右手が見当たらぬ
吸血鬼ゾンビ逃げ出す永田町
事故物件に取り憑く風がうそ寒い
ケータイに亡き祖父から電話来る
そんな苦ないのに金が増えている
ホラー映画とつきに握る他人の手
廃屋に時々明かり点るとか
新聞にホラーまがいの事件事故
ハイヒール履いたお岩につけられる
真夜中のインコが経を唱え出す
お見舞いの誰が置いたか白い菊
川柳句会今日は絶滅危惧種の日
たまさかにホラー映画になる句会
えびす顔仮面を取れば鬼の顔
人間の闇に最強ホラー棲む
本当の童話恐ろし過ぎないか
和ロソク会いたい人に会っている
ホラーとは違う怪談の深み
私以上に私を知っているスマホ
虫に変身してホラーが始まった
斎場の煙がおいでおいでする
月夜には知らぬ自分が歩いている
バンデミックだあれも居ない大都会
もう一人の僕と廊下ですれちがう
森 茂俊
播本 英二
西 美和子
下岡 昌美
岩田 明子
穂山 常男
小川賀世子
田中 薫
吉富ひろし
高橋 裕樹
正信寺尚邦
井本 健治
野口 龍
成山きよし
下村 郁子
上坊 幹子
阪本 高士
露の 団姫
中岡千代美
片岡 加代
正信寺尚邦
稲葉 良岩
山本さくら
阪本 高士

一人ずつ消えて屋敷も霧に消え
酷暑日の公園人が溶け始め
死んだ人となりに座る夏句会
森 茂俊
油谷 克己
阪本きりり

宿題 食 べ る 田中 螢柳 選

食欲が出たと介護がうれしそう
激辛が好きなのやさしい男です
肉食系の妻に草食系の夫
古伊万里に移して食べるカップ麺
泣かんとき鍋焼きうどんさあ食べよ
食べて寝て起されば暑いしか言わぬ
むなしさを食べて独りを生きていく
食欲が出てきた退院が近い
食ロスにガザを思えば恥ずかしい
頂きますごちそうさまの言える幸
煮干し日に五匹は食べる骨密度
晩ごはん妻子と食べたことがない
女子会のひと喧う話止まらない
笑い声聞けなくなつたひとり飯
前頭葉が痩せぬよう日々文字を食む
同じ物食べて妻だけよく太る
生きたいなら食べるポテチが上がる
食べる時育ちがわかる箸使い
松茸は食べはりますかと聞かれても
大西 将文
阪本 高士
荻野 浩子
山田 恭正
成山きよし
田中 新一
倉 周三
沼田 捷二
植野 繁子
片岡 加代
穂山 常男
森 茂俊
田中 新一
大塚のぶよし
大堀 正明
柴田 桂子
下岡 昌美
物種 唯修

健康な内は死なぬと褒められる
何食べてそない大きくなったんや

やっぱり鶴橋や他所とは全然違う
大国の都合で区切り火種時く

倉 周三
松本 柎子

一本のヒットが区切る明と暗
仏殿から空気一変毘盧遮那仏

八木 幸彦
原田 正士

衣食住やっぱり食が愛おしい
食べないと仕事できぬと鰻来る

蒼き星国境なんて引いてない
国境をときどき越えてくるサタン

沼田 捷二
鈴木のりお

区切られた湯気の向こうは母の国
おしやべりを区切る十疋屋のケーキ

稲葉 良岩
下村 郁子

賞味期限切れているけど食べてみる
夢食べる猿を一匹飼いならす

湯澤 孝扇
古川 洋子

正信寺尚邦
露の 団姫

きっちりと言定をこなし缶ビール
念入りの珈琲うまい小休止

小川賀世子
小川賀世子

姉妹してカニ満喫の雪の宿
仏壇のメロンいつになったら食べれるの

大西 将文
阪本 秀子

上坊 幹子
田中 薫

汗流しビールが旨い一区切り
別腹に勿体ないが詰まってる

島田 握夢
下林 正夫

食べて美味しい話の中にある小骨
仏飯供え夕餉の幸に手を合わす

藤村とそん
原田 正士

林 ともこ
本田 智彦

婚姻に区切りをつけて赤トンボ
句読点つけて明日から独り旅

山田 恭正
銭谷まさひろ

米寿の口戦後のひもじさ知っている
もうひと口食べな元氣にならんよ

油谷 克己
西 美和子

奥野健一郎
岩田 明子

句読点こまめに打って生きている
スペアキー返しあなたへ句読点

倉 周三
大西 将文

困産を奮発したで食べなはれ
薄味に徹して覇氣が失せてくる

鈴木のりお
岩田 明子

阪本きりり
松本 柎子

絶妙な間に熟練芸が光る
はみ出した言葉に宿っている本音

菱木 誠
露の 団姫

黙りを決めたお方が皿を積む
起きて食べ生き抜く老いの難しさ

吉富ひろし
森 廣子

大塚のぶよし
田中美弥子

ギアひとつ上げてめるま湯出る覚悟
蹲踞に心洗われ囀り口

井本 健治
田中 新一

親の愛を咀嚼出来ない反抗期
食後の薬を服まなあかんで食べる

大塚のぶよし
島田 握夢

田中美弥子
柴田 園江

現実と理想を区切る高い壁
セルフレジバーコードにも慣れて秋

播本 英二
柴田 桂子

食べる寝るを最優先に八十路生き
宿 題 区 切 る 田中 新一 選

田中 蟹柳
還暦も古希も傘寿もなんもなし

柴田 園江
播本 英二

封印を解こうこんなに広い空
遮断器が上がり二十歳の祝い酒

菱木 誠
鈴木 栄子

歳時記の夏はとくに終わってる
立入禁止熊には読めぬ注意書き

正信寺尚邦
稲山 常男

鈴木 栄子
山本さくら

区切られて一人焼肉女子客
田中 利一

田中 利一
老い二人ひとりで居たい時もある

